

[足立区からのお知らせです]



別添資料千住関連 2

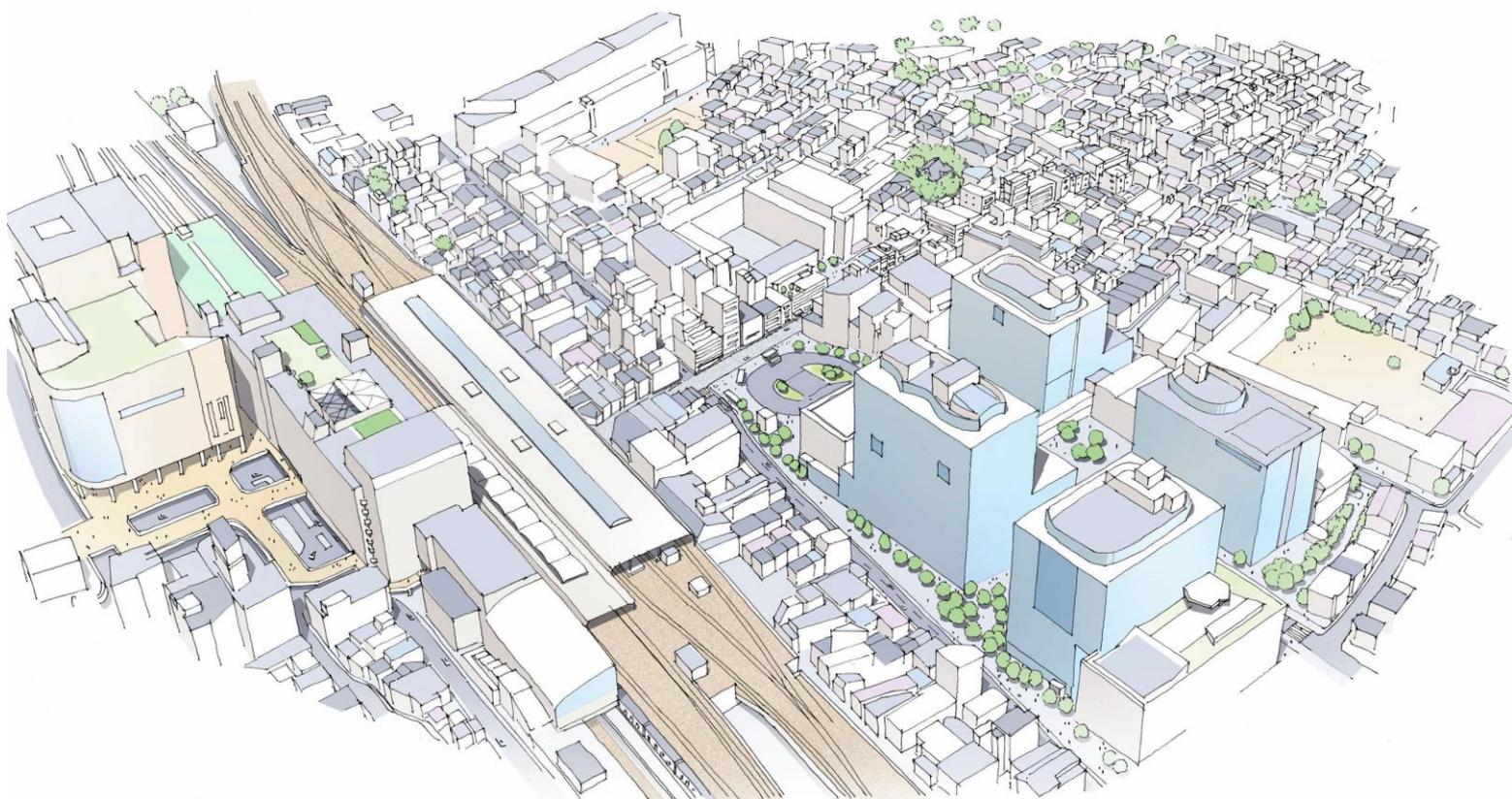


北千住駅東口周辺地区 まちづくりだより

第15号 令和7年4月

千住旭町地区地区まちづくり計画 変更に関するお知らせ

「北千住駅東口周辺地区まちづくり構想」の実現に向けて、市街地再開発事業を活用するなど災害への備えや駅前交通環境の改善等を図るため、新たに「賑わい拠点地区」と「千寿常東小学校地区」の2つの地区を地区まちづくり計画に追加しました。



協働・協創により実現をめざす
下町情緒と新しい街並みが調和する、
安全で安心して暮らせるまち

を目指します!

■ 駅前まちづくりで目指すこと

駅前を起点に東西をつなぐ広域拠点の形成

駅前を起点に居心地が良く歩きたくなる(ウォーカブルな)まちの実現

駅前の拠点化を実現する大街区化と公共施設の有効活用

上記のまちづくりを推進するために、以下の2地区を地区まちづくり計画に追加します。



追加点Ⅰ 賑わい拠点地区

北千住駅前地区市街地再開発事業(北街区)が具体的に動き出しつつあるため、安全面や賑わい、景観を考慮したまちづくりを推進します。

追加点Ⅱ 千寿常東小学校地区

千寿常東小学校は今後、改築が検討されているため、安全安心で快適な学習環境を整備します。

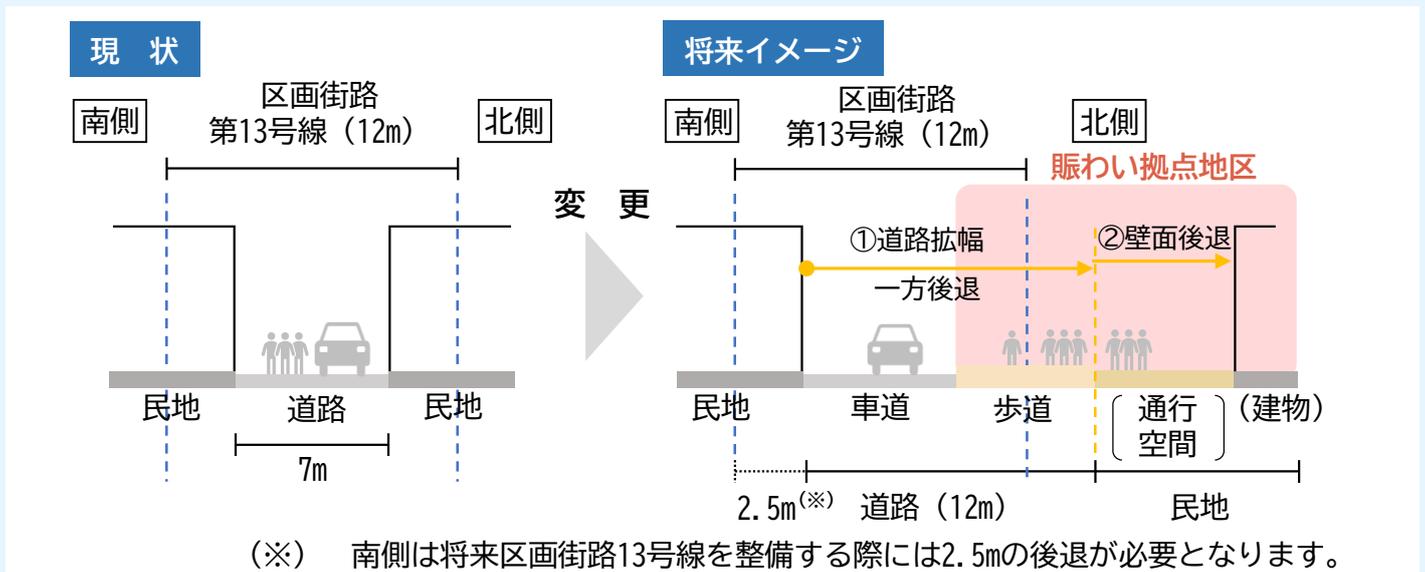
追加点Ⅰ 賑わい拠点地区の目指す方向性

以下の3つの柱を目標とし、安全で活気ある、誰もが利用しやすいまちづくりを目指します。

柱1 災害に強く、犯罪の少ない安全安心なまち

● 都市計画道路の整備による駅前道路拡幅

南側から一方後退で[①12mの道路拡幅]を行い、[②建物の壁面後退]とあわせて、ゆとりある歩行空間を確保することで、自転車と歩行者の駅前交通の錯綜解消を図ります。



● 帰宅困難者対応と水害時の垂直避難場所の整備

地区内において、発災後に帰宅困難者を一時的に受け入れるための一時滞在施設や防災備蓄倉庫の誘導を図ります。駅前に整備予定のデッキは想定浸水深よりも高く計画するなど、水害時の避難場所となるオープンスペース(垂直避難場所)を確保します。

● 交流や憩いの場となるオープンスペースの創出

敷地の共同化による街区のスケールメリットを活かした高度利用や壁面後退等により、人々が集い交流するオープンスペースを創出します。

▼商店街から再開発施設を望むイメージ

▼交流・憩い空間のイメージ



● 駅直結のデッキ整備による駅東西とまちの回遊性向上

下図①

駅前広場に隣接する街区の建替えにあわせて、新たな駅動線を拡充する出入口と、人が集う広場をデッキ上に整備し、駅東西のネットワークを強化することで、まちの回遊性を高めます。

● 駅とまちが一体となるにぎわい拠点の形成

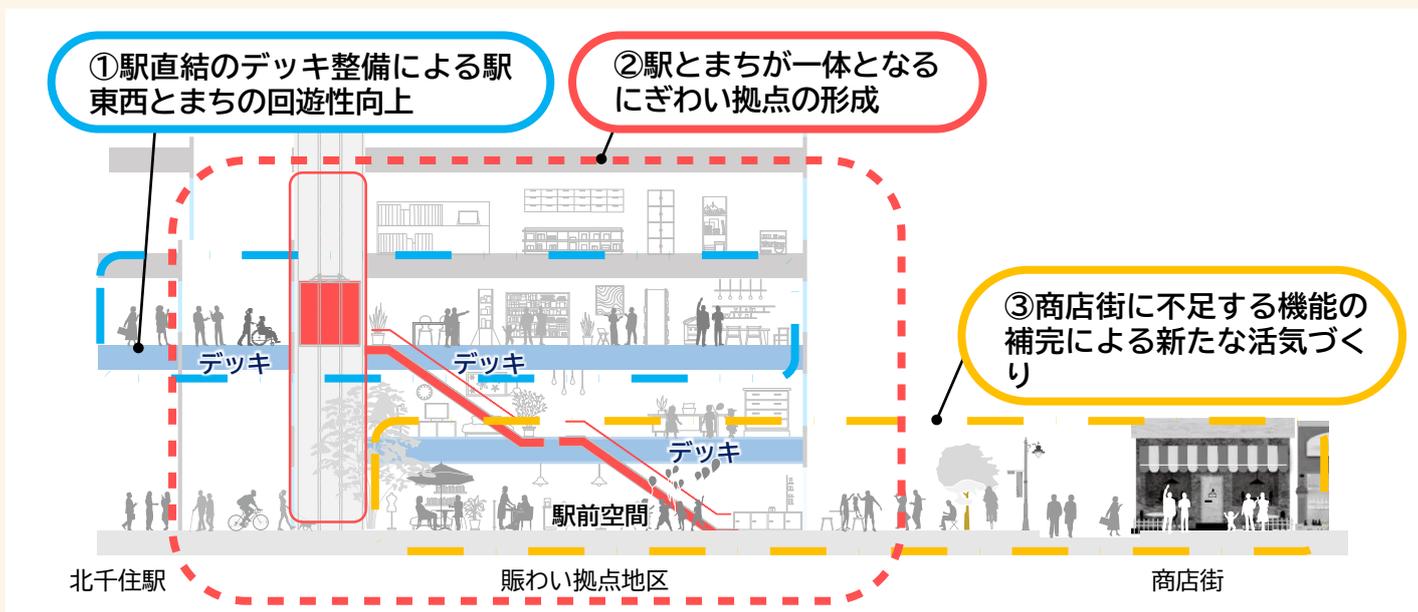
下図②

高さが異なる民間施設（駅やデッキ広場）と道路などの公共空間をつなげる縦動線を整備します。その動線上に、人が集う居心地の良い空間を形成することで、駅とまちが一体となるように、にぎわい空間を連続させます。

● 商店街に不足する機能の補完による新たな活気づくり

下図③

商店街に不足する機能を補完するため、生活用品を取り扱う店舗や子育て支援施設などを導入し、まちの経済活性化を図るとともに、商店街と協働によるイベント開催などで新たな活気づくりとコミュニティ形成を図ります。



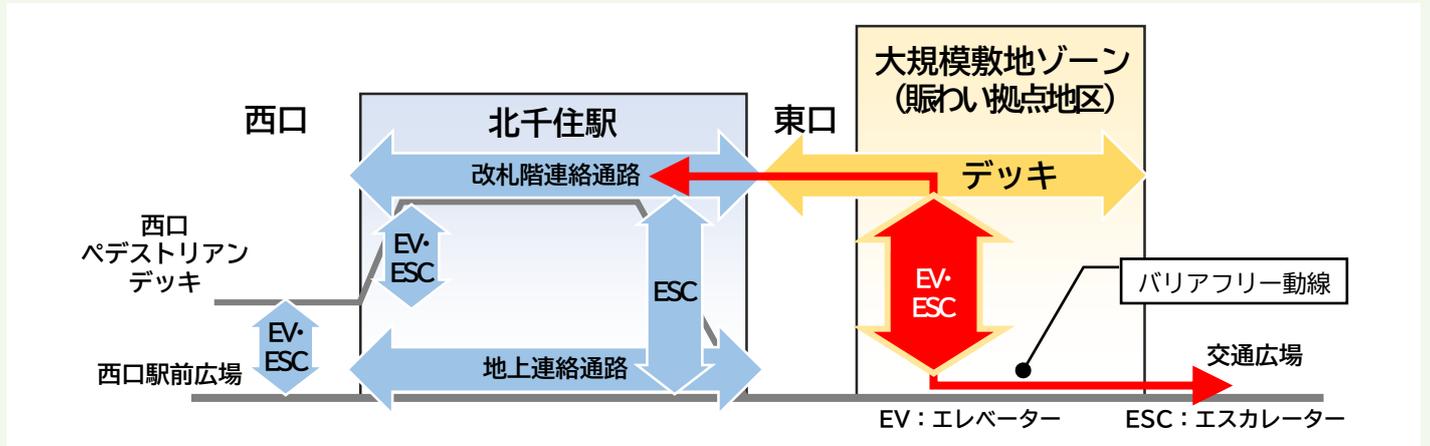
※ デッキ接続は今後、鉄道事業者との協議が必要

柱3

ユニバーサルデザインに配慮した住み続けられるまち

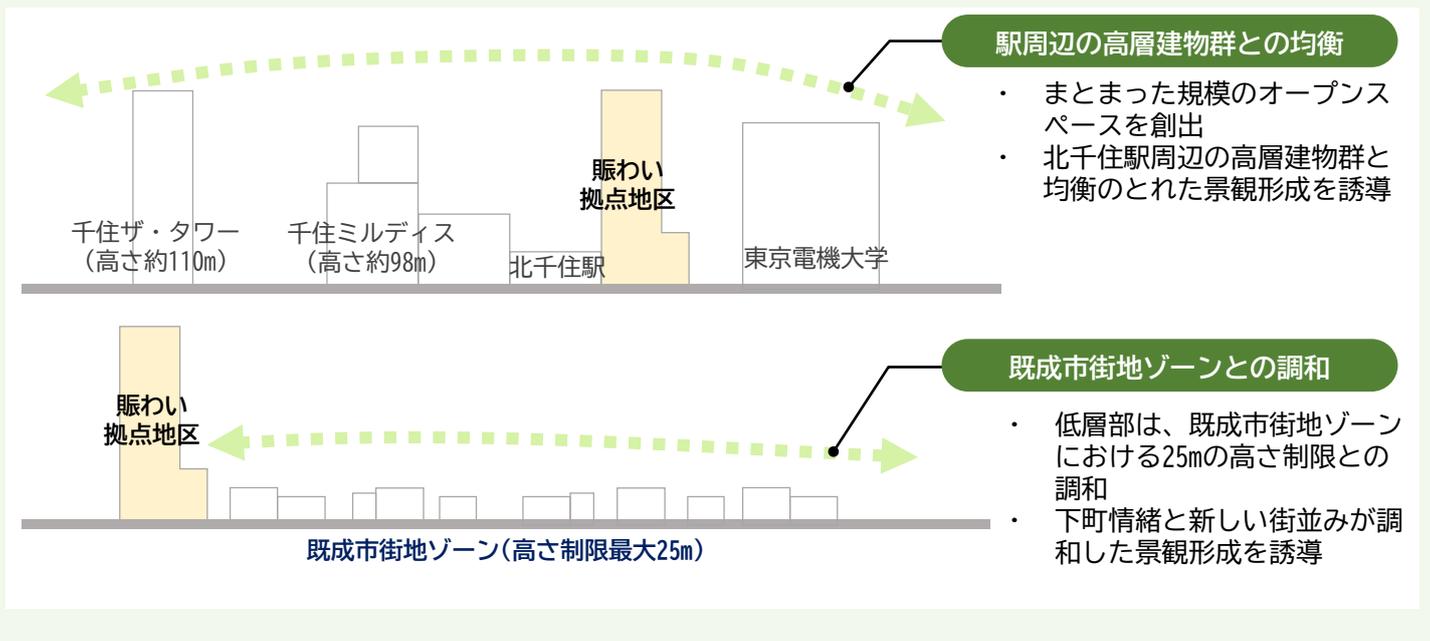
● エレベーターの設置による駅へのバリアフリー動線の整備

北千住駅東口は改札から地上へのバリアフリー動線が確保できていないため、改札階と地上を結ぶエレベーターの設置により、駅とまちを円滑につなぐバリアフリー動線を確保します。



※ デッキ接続は今後、鉄道事業者との協議が必要

● 下町情緒と新しい街並みが調和した景観形成の誘導



追加点II 千寿常東小学校地区の目指す方向性

下町情緒と調和し、安全安心で快適に学べる施設を整備できるよう、今後の誘導内容を定めます。

- 道路ネットワークの形成と安全な通行空間の確保
- 避難所機能の確保
- 周辺と調和した景観形成

お問合せ先

足立区 都市建設部 まちづくり課 千住地区係

〒120-8510 足立区中央本町一丁目17番1号(南館4階)

電話：03-3880-5424(直通) FAX：03-3880-5605

メールアドレス：senju-machi@city.adachi.tokyo.jp